

第103回 全国高校野球 青森大会
第5日

野辺西 攻守に盤石

五所商3安打 三塁踏めず



【野辺地西―五所商】3回表、1死満塁、大平が二塁手の頭を越える適時打を放ち、5―0とリードを広げる。捕手・川島―六戸メイプル

められなかった。早めに1点でも取れていれば、3年生が抜けると(秋以降)単独チームでの出場が難しくなるが、何とか伝統をつないでほしい。

【評】野辺地西は攻守とも盤石だった。初回、川原、小笠原の連続適時打で3点先制すると、三回は1死満塁から鈴木、大平の適時打に敵失も絡むなど打者11人で5点を追加。四、五回も攻撃の手を緩めず、コールド勝ちした。大平は4安打の活躍。先発立花は4回7奪三振と好投した。

五所商は打線が散発3安打で三塁を踏めなかった。3投手も計15安打を浴び、勢いにまれた。

◆4安打2打点と活躍した野辺地西のリードオフマン大平(3年) だ

んな形でも出塁するのが役割。4打席連続安打でチームを勢いに乗せられ

たと思う。次は昨秋わずか1安打で完敗した八工大一が相手。その悔しさから、チームは打撃型のチームへ成長した。初球から思い切り良く、振り切りたい。

◆完敗でこの夏2勝目を逃した五所商の主将野崎(3年) 相手打者のスイングが予想以上に鋭く、失策も重なり、勢いを止